令和７年度　東葉高等学校　自己評価表（令和７年 12 月実施）

学　校　目　標	建学の精神（人間尊重・個性尊重・第三教育）に則り、自他ともにかけがえのない存在であることを自覚し、自身の持ち味、可能性を信じて生涯を通して自分で自分を教育する人間づくりを目指す
本　年　度　目　標	① 東葉高校独自のカリキュラムマネジメント ② 他の学校が取り組んでいないワクワクする学校作り ③ 教育 DX の推進と ICT 授業メソッドの確立と働き方改革

達成度		
	A	ほぼ達成　（８割以上）
	B	概ね達成　（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分　　（４割未満）

	評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題
1	教　務	① ICT 機器の導入による教育 DX ② 授業改善および家庭学習の習慣化 ③ 学校行事の見直し ④ 新カリキュラムの作成	ICT 機器利用による教育効果の検証 研修によるそれぞれの課題克服 文化祭の１学期実施による教育的効果 ２年・３年は文理選択だけでなく、国立型６教科８科目の選択	A	・生成 AI を取り入れた効果的な授業展開 ・生徒のニーズに応えることができる授業づくり ・家庭学習の習慣化と探求的な学び ・生徒の実態を踏まえた移行カリキュラム
2	生活指導	① 挨拶運動、登下校指導 ② 交通安全の意識向上 ③ 規範意識の育成 ④ クラブ活動の活性化	生徒会、地域の方と協力して挨拶の奨励 自転車事故防止に全学年で取り組む ＳＮＳ指導を中心とした時間の使い方 テニス部、ダンス部、フィギアスケート全国大会出場	B	・生徒主体の自主的な行事への取り組み ・自転車事故削減と乗車マナーの徹底 ・多様化する生徒の価値観への丁寧な指導 ・全クラブの活性化と強化
3	学習進路	① 生徒一人ひとりの進路開拓 ② 進路実績の向上 ③ 小論文指導や講習などの充実 ④ 効果的な模試の実施	日東駒専合格者増，GMARC合格に向けてのチャレンジ 英検合格者の受験対応、総合型の受験対策 教員全体で小論文指導、夏期・冬期講習・勉強合宿の実施 １・２年生に大学散歩、河合模試の導入	B	・東京理科大合格者増などの理系の躍進 ・進路実績向上にむけた組織的な取り組み ・早い時期での第一志望校の確定への声がけ ・３年５月実施河合模試の事前・事後指導
4	入試広報	① 入試改革 ② 広報活動の改善 ③ 説明会の改善 ④ HP の活用	併願推薦廃止、後期入試を前期２回入試へ改定 パンフレットの見直し 夏休みの学校説明会を重視、入試説明会への接続 塾回り・中学校回りを廃止、説明会と HP 重視	B	・学則定員の厳守 ・説明会・ＨＰの充実度アップ ・在校生による学校広報活動 ・推薦基準の妥当性と評価の見直し
5	環境整備 情報管理 学校行事	① 校舎内外の点検、整備と修理 ② 安定した ICT 運営 ③ 100 周年行事 ④ 芸術鑑賞会の充実	リスクマネジメントを再確認する（火災・事故・体育施設など） ネット環境の向上 創立 100 周年式典、祝賀会の実施、記念誌、記念品 創立 100 周年Ｎ響コンサート校歌合唱	B	・地域交流の拡大、東葉門周辺の環境保全 ・授業力向上に向けた業務のスリム化 ・インフラ整備と学びの充実 ・グローバル事業の円滑な運営